

団体名： 一色町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考							
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等					
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標①	目標②			
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員等の商工会職員が一般的に経営基盤の弱い小規模事業者を中心に事業所へ訪問し、金融相談・労務相談・労務相談等の経営全般に係る様々な相談の指導をすることにより、企業の経営改善が図られ、健全な企業が育成される。このほか、創業も対象とした経営全般に係る相談窓口の設置によって、経営改善に資する指導を行う。	・巡回指導相談企業数 214件(6件) 相談延件数 565件(13件) ・窓口指導相談企業数 233件(21件) 相談延件数 615件(34件) ・個別指導相談企業数 12件(6件) 相談延件数 12件(12件) ・課題解決提案数 37件 ・経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 196.7%)	1180	指標	課題解決提案件数 (達成度 185.0%)	37	20	37	個々の事業所を巡回することにより、その事業所ごとの課題等に個別に対応することができ、小規模事業者の経営改善につながった。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者により細かい巡回窓口指導ができるように指導内容を高めていきたい。
記帳継続指導事業	商工会の職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導とことにより、適正な税務申告や経理の自計化がなされるようになるほか、計数管理を身に付けることによって経営力の向上にも結び付ける。	記帳指導職員 記帳継続事業者数 45件(指導延回数582回) 指導日数227日 記帳指導員 記帳継続事業者数 31件(指導延回数368回) 指導日数214日も結び付ける。	小規模事業者 記帳継続事業者	指標	記帳継続指導事業者数 (達成度 101.3%)	76	75	指標	記帳継続指導事業者数 (達成度 %)		小規模事業者に、税制面の改正等が理解されるよう努めた。記帳・税務面のサポートを商工会が行うことにより、小規模事業者は正しい税務知識を習得し経営分析力の向上がみられた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	正しい記帳・税務知識を習得してもらうために今まで以上にきめ細かな指導を実施している。新たな記帳継続者の獲得に努めるとともに、記帳継続者の機械化への移行を促していく。	
講習会等事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・経営・労務・情報化等の知識を習得させるほか、時事的な問題を周知することにより、事業者の資質の向上と円滑な事業運営が図られる。	集団講習会 4回/年 75名(内、経営革新1回0名) 個別講習会 青色記帳指導会 7回/年 123名 ・税と経理の定例相談 5回/年 22名 ・労働保険年度更新説明会3回/46名	小規模事業者	指標	小規模事業者参加者数 (達成度 118.2%)	266	225	指標	小規模事業者参加者数 (達成度 %)		専門分野、業種別の問題などテーマを絞り開催し、その事項に問題意識のある事業者をまとめた単位で指導ができた。また個別講習会では、青色記帳指導会を開催し小規模事業者の正しい記帳・税務申告に貢献した。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	アンケート等により事業者のニーズを的確に把握し、経営改善に役立つよう、より効果的な講演講習会を実施していく。また、個人青色申告者には個別講習会のニーズも高いため継続的に実施していく。	
若手後継者育成事業	当地区では、人口減少に加え、小規模事業者も減少傾向にあり、人材や資金・資源の都市部への流出が続いている。減少傾向の防止には、地域の若手経営者や若手に携わる女性の力が必要であり、セミナーの開催により知識を習得し個々の向上心を高め、自らの事業の持続的発展につなげることにより、地域全体の発展へとつなげる。	・資質向上セミナー(青年部) 商工会青年部を中心に1回1回開催 11月24日 参加人数8名 ・資質向上セミナー(女性部) 商工会女性部を中心に2回コースを1回開催、その他にセミナーを1回開催。 7月9日 参加人数8名 9月21日 参加人数11名 資質向上セミナー参加者への満足度調査による満足度割合 96.09% 女性部リーダーセミナー(女性部全国大会)は新型コロナウイルスの影響により参加を取り止め	小規模事業者 青年部・女性部	指標	セミナー受講者数 (達成度 71.1%)	27	38	指標	セミナー参加者満足度 (%) (達成度 120.0%)	96.00%	80%	地区内の商工業者の発展や、地域の活性化には若者の力と女性の力は必要不可欠である。そこで青年部員及び女性部員を中心に、資質向上セミナーを開催することにより、意識改革や知識を習得することができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	セミナーについては、集団的な指導となるため、今後とも多くの若手経営者も参加してもらえるようなテーマや内容を考え実施していく。
祭典事業	商工会が主催、共催するイベントに地域商工業者を中心に出店を募り、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域産業(地域資源、観光資源)のPRの機会を捉え、地域の総合的な振興を図る。	・クルーいっしき夏まつり(8月6日) 出店者25件 ・三河一色みなとまつり 中止 ・西尾市産業物産フェアは新型コロナウイルスの影響により延期	小規模事業者	指標	祭典事業出店者数 (達成度 52.1%)	25	48	指標	祭典事業出店者数 (達成度 %)		新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が中止となり、本来得られるであろうと思われる効果を得ることができなかった。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症による一部事業が中止となった。今年度は、新型コロナウイルスが収束し事業を実施できることと仮定するが若干目標値を下げる。	
地域振興事業	地域の発展や課題解決のための協議を行う地域懇談会に参加して、地域の現状を把握した上で地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域の発展に寄与する。また、地域振興には、創業者の増加が不可欠なことから創業者支援への取組も積極的に行う。	・西尾市を枠組みとした地域懇談会、西三河地域を中心とした地域懇談会、地域ごとの問題について協議する検討会等に合計17回の参加 ・西尾市、西尾信用金庫、西尾商工会議所、西尾みなみ商工会及び当会の5者連携により創業者支援事業 創業セミナー1回、会議5回 ・創業キホン塾、商工団体新年交礼会は新型コロナウイルスの影響により延期	小規模事業者	指標	地域懇談会等参加回数 (達成度 74.2%)	23	31	指標	地域懇談会等参加回数 (達成度 %)		地域の課題等を協議する地域懇談会へ参加することにより情報交換を行い、現在の広域経済状況や地域活性化に係る取り組みなどを把握することができた。創業支援も5者連携により実施することで、効果的に実施できた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	各会や協議会に参加することが主となるため、目標となる出席回数は主催者の意向に左右される。地域懇談会で得た情報のなかから地域に役立つ情報を効果的に発信、活用していきたい。	
商業振興事業	消費者の生活形態の変化や地区外への購買力流出など、地域の商業者は様々な課題を抱えている。そこで、地域商業の活性化、集客力の向上につながるようスタンプ券発行事務・街路灯維持管理事業などの支援を行う。	・大売出し事業の支援(12月：歳末セール) ・いっしきスタンプ券事業の支援(いっしきスタンプ券会員数29件) ・スタンプ券発行事務支援(いっしきスタンプ券商品券発行券発行枚数422枚) ・街路灯維持管理事業(街路灯65本) ・商店街夏イベントは祭典事業のクルーいっしき夏まつりに統合	小規模事業者 商業者	指標	スタンプ券参加企業数 (達成度 93.5%)	29	31	指標	スタンプ券参加企業数 (達成度 %)		多くの課題を抱える地域商業者を各方面から支援することにより、地区内商業者の団結力を高めることにも地域商業の発展を図った。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も地区内の商業団体となるいっしきスタンプ券と協力し、地区内商業の活性化に協力していきたい。高齢化、後継者不足で悩める商店もあるため、来年度の目標を下げる。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

団体名： 一色町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考						
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等				
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標①	目標②		
地域産業活性化事業	当地域では、地場産業としてえびせんべい製造業が盛んであり「三河一色えびせんべい」の名称で地域団体商標を取得、これらのPR活動や組合事業の活動支援を行う。また、自治体が特に観光力を生きていることから、観光関連の事業や物産展開催への支援を行い、外部へのPRを推し進めることにより企業の発展及び地場産業の活性化を図る。	・西尾市観光協会事業への協力 ・観光促進会種への参加 ・えびせんべい業界等の県内外イベント、物産展出店支援（年7回参加） ・えびせんべい業界のPR活動支援 ・三河一色えびせんべい組合活動支援（組合員34事業所）	小規模事業者 ：えびせんべい業者等	指標 イベント・物産展参加回数 (達成度 140.0%)	指標 (達成度 %)	指標 5	実績数値 7	目標数値 7	指標 実績数値	目標数値 実績数値	得られた効果 小規模事業者個人では対応しきれない各事業を、組合活動を通じて実施でき、小規模事業者の経営改善と地場産業振興の底上げに大きく寄与できた。また、物産展内外へ効果的にPRできた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	○ 当地区の地場産業であるえびせんべい業界の振興のため、支援を継続していく。イベント等へ積極的に参加し「三河一色えびせんべい」の認知度を上げていく。
調査・広報事業	・中小・小規模事業者へ関連施設の制度概要を中心とした広報誌を発行し、幅広い周知を図る。 ・地区内事業者のホームページへのリンクを行い、地区内事業者の対外的なPRを行う。 ・中小・小規模事業者関連の施策に反映させるため、必要に応じてアンケート調査を行い、地区内の動向を把握する。	・商工会報「おしらせ」毎月1回 年12回発行	小規模事業者	指標 会報発行回数 (達成度 100.0%)	指標 (達成度 %)	指標 12	実績数値 12	目標数値 12	指標 実績数値	目標数値 実績数値	得られた効果 巡回や窓口指導だけでは、地区内事業者に時期柄にあった施策を届けることは難しいため会報誌を毎月1度発行し、必要とする情報をタイムリーに提供し、商工業者の発展に役立てることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	○ 当会の広報誌は、商工業事業者の報告が中心ではなく、あくまでも小規模事業者にとって有益な情報の発信をメインとしている。今後、小規模事業者を中心とした広報誌に努めていく。
雇用促進事業	自治体の合併により当地区は西尾市となったが、旧郡部における企業の従業員定着率は決して高いものではない。そこで、地区内事業者の従業員定着率の向上を図るための事業を実施する。また、地区内で地域を担う優秀な人材を育成するための事業にも協力し、将来的な商工業の発展や地域の活性化に寄与する。	・優良従業員表彰は新型コロナウイルスの影響により中止 ・西尾市雇用推進協議会合同企業説明会への協力 ・商工会珠算検定 9月11日、11月20日、2月19日3回 受験者12名 ・西三河商工会珠算競技大会 11月23日 ・各種検定事業の紹介、輪読同時	小規模事業者	指標 珠算検定受験者数 (達成度 120.0%)	指標 (達成度 %)	指標 10	実績数値 12	目標数値 12	指標 実績数値	目標数値 実績数値	得られた効果 珠算検定は地域に優秀な人材を育て、地区内事業者への就職が将来的に見込まれれば地域社会の貢献に寄与できると考えられる。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	○ 小規模事業者である珠算教室と連携し、皆が珠算の良さを改めて認識し受験者が増えるよう努める。地区内でも人手不足の声を多く、何かの対応を考えていきたい。
青年部・女性部事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、必要となる知識を習得するための事業や部員間での交流事業・社会福祉事業を通じて地域との関わりを積極的に持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	・愛知県商工会青年部・女性部連合会事業への参加 6回 ・西三河支部青年部・女性部事業への参加 9回 ・社会福祉事業への参加 1回 ・地域活性化イベントへの参加 3回 ・部員親睦事業への参加 2回 ・青年部員40名、女性部員47名	小規模事業者 青年部・女性部	指標 青年部女性部員数 (達成度 103.6%)	指標 (達成度 %)	指標 84	実績数値 87	目標数値 84	指標 実績数値	目標数値 実績数値	得られた効果 愛知県商工会連合会や西三河支部商工会で開催される講習会等への参加により、若手後継者及び商工業に携わる女性としての視座を育て、地域商工業の発展が図れた。また、社会福祉事業や地域イベントなどへの参加により地域社会の発展や活性化に寄与できた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② 実施方法① 実施方法②	○ 若手後継者及び商工業に携わる女性の資質を育てるために、必要となる事業を積極的に実施していく。来年度の目標を若干上げる。
福利厚生事業	中小企業、小規模事業者の経営、雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業を実施し、企業の健全な育成・従業員の福利厚生に資する。	・中小企業共済（398名）、愛知火災共済（27名）、ビジネスため、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業を実施し、企業の健全な育成・従業員の福利厚生に資する。 8月22日～9月7日のうち10日間検診率を巡回させ実施（90事業所）	小規模事業者	指標 各共済加入者数 (達成度 100.4%)	指標 (達成度 %)	指標 450	実績数値 452	目標数値 450	指標 実績数値	目標数値 実績数値	得られた効果 商工業者の経営に役立つ共済の加入促進を行い、企業の安定的な発展を図った。また、健康診断事業は、従業員の安定的な雇用と企業の健全な育成を目指すために実施し、多くの事業者の参加を得ることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	○ 次年度も各共済の普及に努めるが、廃業や従業員数の減少による共済契約の解約が見込まれるが引き続き積極的に加入促進を続けていく。健康診断事業は、ニーズも高く今後も継続して実施していく。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減するほか、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	・労働保険事務組合加入者の労働保険年度更新事務（事務組合員67社） ・労働保険事務組合加入者の労働保険料納付事務 ・労働保険事務組合加入者の労働保険各種手続き事務	小規模事業者 労働保険事務組合加入事業所	指標 労働保険事務組合員数 (達成度 97.1%)	指標 (達成度 %)	指標 69	実績数値 67	目標数値 69	指標 実績数値	目標数値 実績数値	得られた効果 人的、時間的に制限の多い中小企業の労働保険事務を委託し、代行することにより中小事業者の事務処理の負担を軽減するとともに、労働保険についての理解を深めて頂き、その適正な運用を図ることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	○ 引き続き委託事業主の獲得に努める。事務組合に対する需要は確実に存在するため、継続して事業を実施していく。従業員を雇わなくなる事業所が増えたため、来年度の目標を下げる。
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域経済の発展をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、いちは、商工業の活性化に資する。	・商工会と青色申告会の共催による青色申告指導会の実施（7回/年） ・一色青色申告会、西尾法人会一色支部の事務支援、講習会、研修会事業の支援 ・西尾税務連携協議会に係る事業 ・一色青色申告会150件、西尾法人会一色支部187件	小規模事業者 ：青色申告会 ：法人会加入者	指標 青色申告会法人会会員数 (達成度 97.5%)	指標 (達成度 %)	指標 356	実績数値 347	目標数値 356	指標 実績数値	目標数値 実績数値	得られた効果 青色申告会の活動により事業者は正しい帳簿記録に基づいた決算及び申告を行い、効果が大きかった。西尾税のたよりの全戸配布により、税に関する理解を深められ地域に貢献できた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	○ 青色申告指導会は小規模事業者にとって必要事業である。研修会は事業者にとって資力の向上に必要であり今後も実施したい。青色申告会に事業主による参加者が多いため来年度は目標を下げる。
産業界等指導事業	各種業界団体等、産業界団体の活動をサポートして、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、いちは、商工業の活性化に資する。	・西尾労働基準協会一色分会の事業支援（会員数101名） ・一色鉄工業の事業支援（会員数19名） ・一色ガス協同組合の事業支援（会員数4名） ・一色商工友会（青年部08）の事業支援（会員数38名） ・愛知連西尾支部の事業支援（会員数212名）	小規模事業者 ：左記団体加入者	指標 左記団体構成員数 (達成度 97.4%)	指標 (達成度 %)	指標 384	実績数値 374	目標数値 384	指標 実績数値	目標数値 実績数値	得られた効果 各種業界団体、協同組合、地域貢献団体の事務等を支援することにより、事業者及び業界間での意見交流が活発に行われ、地域社会の貢献や発展の一助となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	○ 商工業事業を実施していくにあたり、各種商工団体等との連携は重要であることから今後も産業界団体の支援を積極的に実施していく。業界団体の参加者数の減少のため、来年度の目標値を若干下げる。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。